

IBC2018 REPORT

欧州最大規模の放送機器展である「IBC 2018」が2018年9月14日（金）～

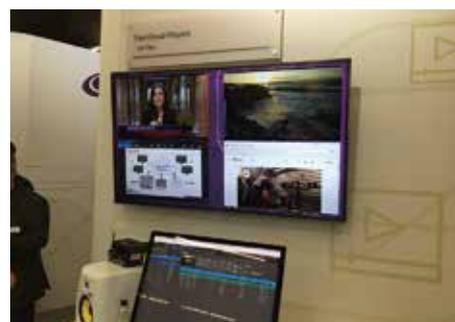
18日（火）の5日間、オランダのRAI アムステルダムコンベンションセンターにて

開催された。本項は、各社から寄せられた、現地レポートをお届けする。

グラスバレー



グラスバレーブース



GV Flex



eSport



Arena OB Van



Rio 4K, EDIUS pod

● eSport の普及

GV だけではなく EVS など eSports の会社とコラボしたブース。

GV もライブシステム導入のチャンスだが、メジャースポーツほどの予算はないため、それに合わせた提案が出来るかが鍵となりそうである。

●クラウドの加速

ソニー、パナソニックともに報道システ

ムにクラウドを活用するソリューションを展示。

OTT 専門局も増える中、プレイアウトシステムもクラウド化が加速している。

● IP / SDI ハイブリッド

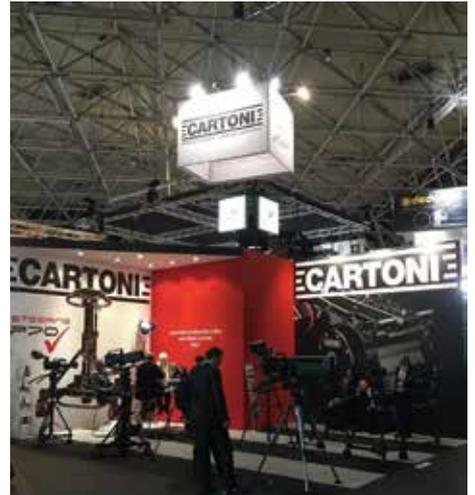
IP Showcase の展示に見られるように SMPTE 2110 などの国際規格に則って各メーカーが互換を図る一方で、12G SDI も肯定するシステムが多く見られた。

IP はすでに一つの手段となり、どのように現場に取り入れるかが問われる段階となった。

● 4K&8K / HDR

クオリティの高いコンテンツを制作する手段の一つとなり、もう出来ていて当たり前といった感があり、クラウドへどう対応させるかが、次の課題だと言える。

CARTONI



カルトーニのブースでは、従来の P70 ペDESTALの進化版である、**ステアリング P70** が展示されていた。

上部に付いているリング状の輪と車輪が連動して動く。

続いて、**HD 三脚 Sport 200**

スポーツ撮影に適した新しい三脚。ねじ

れ剛性にすぐれた革新的なアルミを使用し耐荷重 200 kg までサポートしながら、重量は 10.5 kg と軽量。

E-CUBE 7

従来の E-CUBE (100mm ベース+無段階パン及びチルト) に加え、7 段階のパン+チルトドラッグが可能な E-CUBE 7 を新

CARTONI のブース

たにラインナップに加えた。

E-CUBE 7 は、リモートヘッドに接続されパンバーとして動く。クレーン、ジブ及びドローン用のリモートコントロール用に最適。

リーダー電子

IBC2018 では、新製品 ZEN シリーズを中心にアピールした。ブースに来場者は、例年より多かった。

特に注目されたのは、主力の波形モニター LV5600、ラスタライザー LV7600 で、IP 測定や HDR 測定への関心が高異様だ。

PTP に対応したシンクジェネレーター LT4610 も多くの来場者から注目された。



リーダー電子ブース



ソニーのブースにて IP カメラ出力と接続した LV5600



ソニーのブースにて カメラの 12G 出力を LV5600 に接続

ネットワークエレクトロニクスジャパン取扱いメーカー

◆ Nevia ブース番号：ホール 1・B71

今年のテーマ「We are turning the focus on PEOPLE.」を掲げて「物から人へ」主演をアピールした展示ブース。

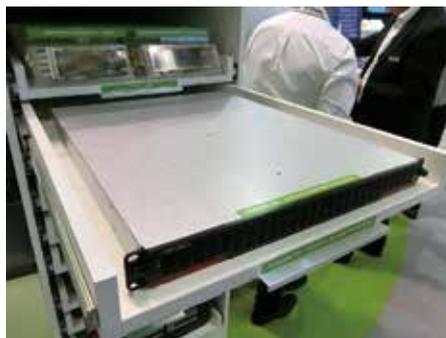
IP メディアトランスポート全般にかかわる技術的な問題や人的リソースに関しての問題を解決するソリューション全般に関してお客様の力になれるパートナーを目指していた。

アナウンス通り9月に欧州にIPオペレーションセンターを開設した。今後のビジネス展開拡張に期待が持たれる。

展示製品では、VideolPath IPメディア・マエストロ・オーケストレーション・サーバーのVer7がリリースされGUIの刷新と各種アップデートを行ったとのこと。またMOSにも対応したがもともとVideolPathは各社ネイティブドライバ対応で認識登録マネージメントは含まれている。ST 2110に完全対応したVirtuoso（バーチュオース）IPゲートウェイによりST MI大容量新フレームシャーシを初展示していた。1RUサイズながらキャリアグレードの品質をもち100G Ethernet アグリゲーションにも対応する広帯域バックプレーンを内蔵している。その他、1RUで奥行き短いフレームシャーシながら3GHD-SDIx8、RS422x8、GPIOx16、GbitEtherx2のマルチI/Oを持つCWDM光波長多重伝送装置の新製品を展示していた。



IBC2018_Nevion01：人をテーマにしたブースデザイン



IBC2018_Nevion02：マルチフォーマットIPプラットフォームフォーム、Virtuoso MI フレーム



IBC2018_Nevion03：Flashlink コンパクト、フィールド用マルチI/O CWDM

◆ Volicon/Verizon Digital Media Service ブース番号：ホール 5、B64

MPEG2/H.264 を搭載し長期間の同録と同時にweb インターフェースによるクリップ編集共有機能やマルチチャンネルモニタリング機能とソーシャルメディア向けやOTT、ストリーミングサービスとの連携が可能なシステムを展示。



IBC2018_Volicon01：Verizon DMS 社 Volicon 担当者



IBC2018_StreamLabs01 : IP マルチビューアー MultiScreen 画面の展示



IBC2018_StreamLabs02 : MCR 監視卓をイメージした監視画面、録画ソフトウェア画面の展示

◆ Stream Labs

ブース番号：ホール 7・A40

MS Windows OS ベースソフトウェアの IP オーディオ & IP ビデオマルチフォーマットビデオマルチビューアー MultiScreen を

中心に実際の MCR 監視卓をイメージした監視画面、録画ソフトウェアなどを壁一面のモニターに展示。その他、VRec : 多チャンネル録画オートメーションソフトウェア、MultiDelay : TS ビデオ最大 19 秒の遅延装置展示していた。また 2018 FIFA

World Cup Russia では、IBC MCR にて 216 台のサーバーで SDI、IP ハイブリッドマルチビューアー、エラー監視装置を設置し HD-SDI 入力だけでも 840ch 分を用意したと説明していた。



IBC2018_BridgeTO1 : 例年通り緑を基調にしたブース全景



IBC2018_BridgeTO2 : IP ステータス、サムネイル画像など自在にレイアウト可能な Remote Data Wall



IBC2018_Torque01 : ブース風景

◆ Torque Video System

ブース番号：ホール 1・F34

DVStor 同録装置の最新アップデート版



IBC2018_Torque02 : 10G Ethernet ポートを装備するモデルも登場

を展示。DVMon QoS モニタリング装置シリーズで DVB-T2 と 10Gig Ethernet ポートを搭載した新製品を展示。

◆ Bridge Technologies

ブース番号：ホール 1・F68

オールインワンポータブルタイプの IP/TS/RF プローブ Nomad (ノマド) から IP ビデオ・コンテンツ・エクストラクター、アーカイブモニターや多様な情報を表示するビデオウォールビューアー監視モニターアナライザを展示。

輸入代理店：ネットワークエレクトロニクスジャパン株式会社

TEL : 03-5542-3260 www.network-electronics.co.jp